

富 山 市

安全報告書（2020年）



牛岳温泉スキー場

（クワッドリフト・第1ペアリフト・第2高速ペアリフト）

1. 利用者の皆様へ

当市の索道事業に対して、日頃のご利用とご理解まことにありがとうございます。

当市は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について自ら振り返るとともに、広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見をいただければ幸いです。

富山市（牛岳温泉スキー場）市長 森 雅 志

2. 基本方針と安全目標

（1）基本方針

当市の経営理念の第一は安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、市長以下職員・従業員に周知・徹底しています。

1. 市長は、索道施設及び職員を総合活用して輸送の安全を確保するための管理の方針その他事業活動に関する基本的な方針を具体的に定め、安全第一の意識を持って事業活動を行える体制の整備に努める。
2. 職員は、次に掲げる安全に係る行動規範を理解し、輸送の安全確保に努める。
 - （1） 一致団結して輸送の安全確保に努めること。
 - （2） 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し厳正、忠実に職務を遂行すること。
 - （3） 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
 - （4） 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取扱いに努めること。
 - （5） 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を行うこと。
 - （6） 情報は漏れのないよう迅速、正確に伝えること。
 - （7） 常に問題意識を持ち、必要な変革に努めること。
3. 第1項の方針に基づき策定した索道施設及び職員等に係る安全性向上のための施策は適宜見直すものとし、当該施策及びこれに基づく取り組みの実績、その他安全に関する情報については、毎事業年度これを取りまとめ、安全報告書として掲示公表する。

(2) 安全目標

索道輸送安全目標は次表のとおりです。平成27年度は索道人身障害事故がありませんでしたが、引き続き目標達成に向けて取り組んでまいります。

区 分	項 目	内 容
定 量 的 な 目 標	設備不具合による事故	乗客の死亡を伴う事故を発生させない。
	人身障害事故	5年間の発生件数を1件以下とする。

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

令和元年度はありません。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

令和元年度は災害による運行停止はありません。

(3) インシデント（事故の兆候）

令和元年度は国土交通省へのインシデント報告はありません。

(4) 行政指導等

令和元年度はありません。

4. 輸送の安全確保のための取り組み

(1) 人材教育

当市では、輸送や皆様の安全に役立つよう、シーズン営業開始前に施設及び取扱いについての安全教育を実施しています。

(2) 緊急時対応訓練

毎年、シーズン営業開始前に職員・従業員にて救助訓練を実施しています。

(3) 安全のための投資と支出

安全の維持・向上のため、営業収入の2割（スキー場全体）を目途に施設の更新・修繕費に充てています。令和2年度はリフト受圧索金物の更新を行いました。

5. 当市の安全管理体制

市長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

※安全管理組織図

6. 利用者の皆様の連携とお願い

(1) 「お客様の声をかたちにしています」

より安全で信頼される索道をつくるため、皆様からお寄せいただいた声を役立てていきます。

(2) リフト乗車時の注意事項

- ① 乗り方に慣れないお客様は、係員にそのことを申し出てください。
- ② 空き缶、タバコの吸殻、その他の物品を乗っているリフトから投げ捨てないでください。
- ③ 搬器からの飛び降りや、搬器を揺らさないでください。
- ④ 衣服、携帯品、髪の毛などが施設に巻きつかないように注意してください。
- ⑤ 改札後は係員の指示に従ってください。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当市の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

〒930-2116

富山県富山市山田小谷中根2

牛岳温泉スキー場スキーセンター

TEL : 076-457-2044 FAX : 076-457-2049

E-mail yamada-ski@city.toyama.lg.jp